

私のおすすめ

「障害者の声」を聴いてみませんか？ ～障害者の理解を深めるために～

「障害のある人と出会ったとき、お手伝いしたいけれど、どんなふうに接したらいいんだろう？」
「障害者を雇用するとき、気をつける点とは？」
そんな疑問や課題を持つ皆さん、障害のある人の理解や対応は、決して難しいことではありません。

今回は障害のある人と接するとき、大切にしたい視点ををご紹介します。

❖ 赤ちゃん言葉はやめて！ 介助者ではなく障害者本人に聴いて！

私たち障害者は、街に出かけたときに、周囲の人の接し方にとっても傷ついたり、違和感を覚えたりすることがあります。例えば、40代の視覚障害者が道で「そこは銀行よ、お金を下ろすところよ、分かる？」と声を掛けられ、年齢相応の対応をしてほしいと感じたことなどがありません。

私たちは障害があっても、大人として生活しています。「子ども扱いしないでほしい」「言語障害のある人の話が分からないときには、分かったふりをせずに、理解できるまで丁寧に聴いてほしい」「知的障害のある人などには優しい心と易しい表現の『2つのやさしさ』で接してもらいたい」など、経験をもとに感じています。

そして、障害の種別を超えていつもお願いしていること、それは「どうしたらよいか分からないときには、何でも遠慮なく尋ねてほしい」「介助者ではなく、障害のある本人と直接話してほしい」という、至ってシンプルですが、とても大切なことなのです。

❖ 実際に体験して、理解を深める

ぜひ皆さんの生活する地域の中で、働く環境で、障害者の生活を体験してみてください。

例えば、地域の福祉研修会で車いすに乗ったり、アイマスクをつけて歩いたりして、障害当事者がどのような思いでいるのか理解を深めてもらいたいのです。

実際に体験された方からは、「車いすの操作法は知っていたけれど、乗ってみて、こんなに怖いものとは思わなかった」という率直な感想もありました。障害のある人の生活しづらさとは、誰にでも共通する素朴な気持ちでもあるのです。

今月は ⇒ (N)神奈川県障害者
自立生活支援センター がお伝えします！

通称KILC（キルク）。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング（障害者による相談事業）や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、厚木・平塚2カ所を拠点に活動中。

<連絡先>〔法人本部〕厚木市愛甲953—2

☎046-247-7503 FAX046-247-7508

URL <http://www.kilc.org>

E-mail info@kilc.org

❖ 障害者の理解を深めるための講座

私たちKILCでは、「障害があってもなくても当たり前前に生きられる社会」を目指して、昨年度から出前講座（県委託）を実施しています。

鉄道会社では、聴覚障害者のために、放送でしか伝えられない列車の遅延情報などを紙に大きく書いて伝える必要性を理解してもらったり、コンビニエンスストアのマネジャー研修では、視覚障害者の誘導を実習したりしました。

参加者の皆さんからは「障害当事者の実体験からの話で、説得力があってよく理解できた」「今まで障害のある人への対応は迷いながらしていたが、自信を持ってできるようになった」など、障害当事者による講座を高く評価していただいています。

企業だけでなく、地域の商店街や学校、駅などで障害のある人に声を掛けたいけれど、どうしたらいいのか分からないと思っている皆さんも、お気軽にご相談ください。



(写真左) バス乗務員研修での車いす利用者の接遇実習
(写真右) 鉄道乗務員研修での視覚障害者の誘導実習



※講座費用は無料。会場は主催者にご用意いただきます